
「日本好配当リバランスオープン」
分析レポート

日本好配当リバランスオープン

「日本好配当リバランスオープン」（以下、当ファンド）は、予想配当利回りの高い国内企業の株式に投資するアクティブファンドである。日経 500 種平均株価採用銘柄の中から予想配当利回り上位 70 銘柄程度を取り上げ、銘柄ごとの金額が等しくなるように投資する。原則として、月に 1 回組入銘柄と組入比率を見直し（リバランス）することで、ファンドの予想配当利回りが相対的に高水準を維持するように努める。

過去 3、5、10 年間のトータルリターンはいずれもカテゴリー内トップ 3

当ファンドの 2023 年 10 月末時点の過去 10 年間のトータルリターン（年率）は 11.91% と、ウエルスアドバイザーのカテゴリー「国内中型バリュー」の平均を 3.71% 上回り、カテゴリー 19 本中第 2 位となった。3 年間（同）は 28.40% でカテゴリー 31 本中第 3 位、5 年間（同）は 11.82% でカテゴリー 27 本中第 3 位と、いずれもカテゴリー内でトップ 3 となった。リスクに見合ったリターンを獲得できているか否かを測る指標であるシャープレシオは、過去 3 年間で 2.38、5 年間で 0.71、10 年間は 0.76 となり、カテゴリー内の順位は順に 2 位、5 位、4 位となった。当ファンドのパフォーマンスは中長期的に優れている（図表 1）。

図表 1：期間別トータルリターンとシャープレシオ

		3年	5年	10年
トータル リターン	日本好配当リバランスオープン	28.40%	11.82%	11.91%
	カテゴリー平均	20.08%	8.69%	8.20%
	カテゴリー平均差	8.32%	3.13%	3.71%
	カテゴリー内順位	3位（31本中）	3位（27本中）	2位（19本中）
シャープ レシオ	日本好配当リバランスオープン	2.38	0.71	0.76
	カテゴリー平均	1.62	0.55	0.54
	カテゴリー平均差	0.76	0.16	0.22
	カテゴリー内順位	2位（31本中）	5位（27本中）	4位（19本中）

※カテゴリー：国内中型バリュー

※トータルリターンの 3 年、5 年、10 年は年率

※2023 年 10 月末時点

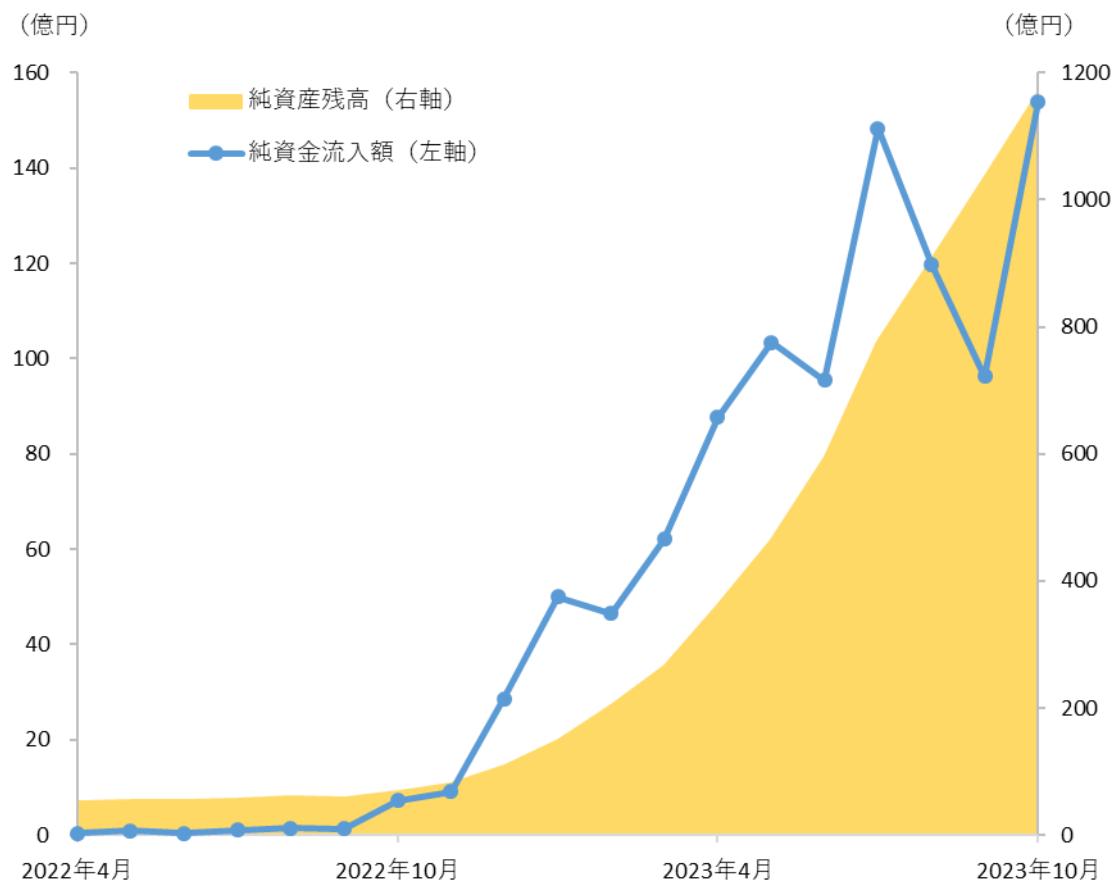
出所：ウエルスアドバイザー作成

直近1年間の純資金流入額は国内株式型ファンドトップ、純資産残高は一般的な国内配当株ファンドでトップ

当ファンドの純資金流入の推移を見ると、2022年4月から2023年10月末まで19カ月連続で純資金流入となった。特に2023年に入ってから毎月45億円以上の流入超過と純資金流入額の増加傾向が続いており、2023年10月の純資金流入額は154億円と設定（2005年3月）来で最大となった。同月までの1年間（2022年11月～2023年10月）の累計では1,001億円の純資金流入となり、国内公募追加型株式投信全5,578本（確定拠出年金専用及びファンドラップ専用含む、ETF除く）の中で第14位、うち、国内株式に投資する国内株式型ファンド788本の中ではトップとなった。

良好な運用成績と純資金流入額の拡大を受けて、当ファンドの純資産残高は足元で急増している。2023年9月15日には1,000億円を突破し、同年10月末時点は1,167億円（前年同月末比17.1倍）にまで拡大した（図表2）。国内配当株ファンド（※）47本中では第2位であり、国内配当株ファンドの中でも、確定拠出年金及びファンドラップ専用、ETF等を除く一般の投資家が購入可能な36本の中ではトップで、かつ唯一1,000億円台に乗せている。

※国内公募追加型株式投信（確定拠出年金専用、ファンドラップ専用、ETF含む）のうち、2023年10月末時点でファンド名もしくは愛称に「配当」を含む国内株式に投資するファンド

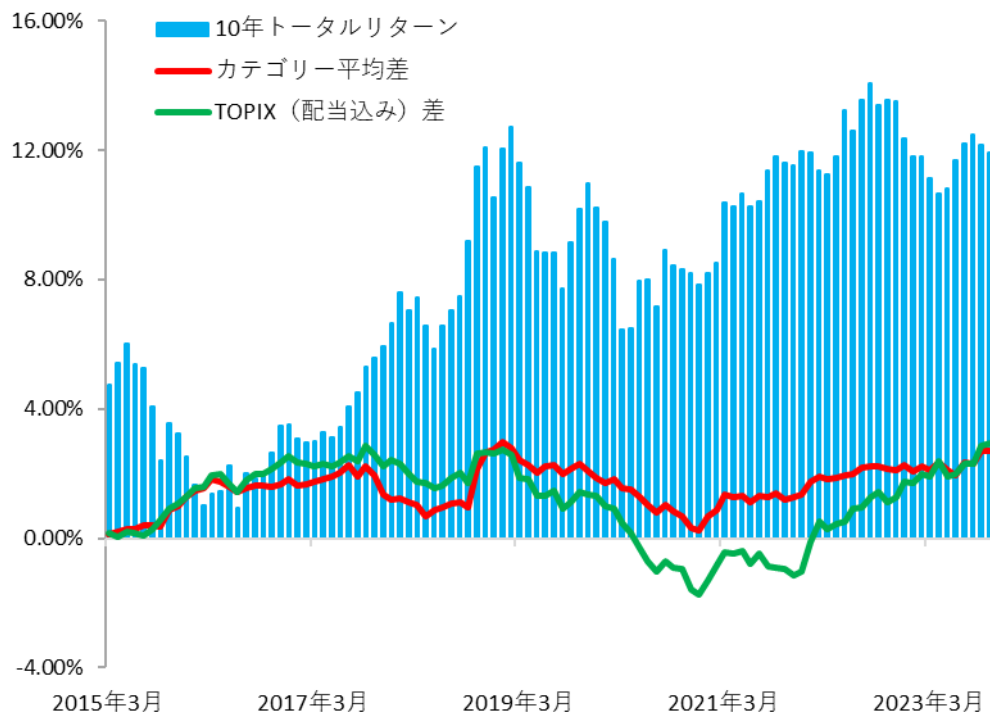
図表2：純資金流入額と純資産残高の推移


※期間：2022年4月～2023年10月（月次）

出所：ウェルスアドバイザー作成

いつ購入しても10年保有すればプラスのリターンを獲得

当ファンドの10年トータルリターンの推移（ローリングリターン、年率）を見ると、2023年10月末までの全104カ月でプラスのリターンを獲得した。10年トータルリターンの推移は、各月末時点における過去10年間のトータルリターンの推移を表したものである。10年トータルリターンが全期間でプラスであるということは、投資家は当ファンドを設定後いつ購入しても、10年間保有すれば必ずプラスのリターンを獲得できたことを示している。加えて、全104カ月でカテゴリー平均も上回っているほか、参考指数のTOPIX（配当込み）も約8割の83カ月で上回っており、評価できる（図表3）。

図表3：10年トータルリターンの推移


※カテゴリ：国内中型バリュー

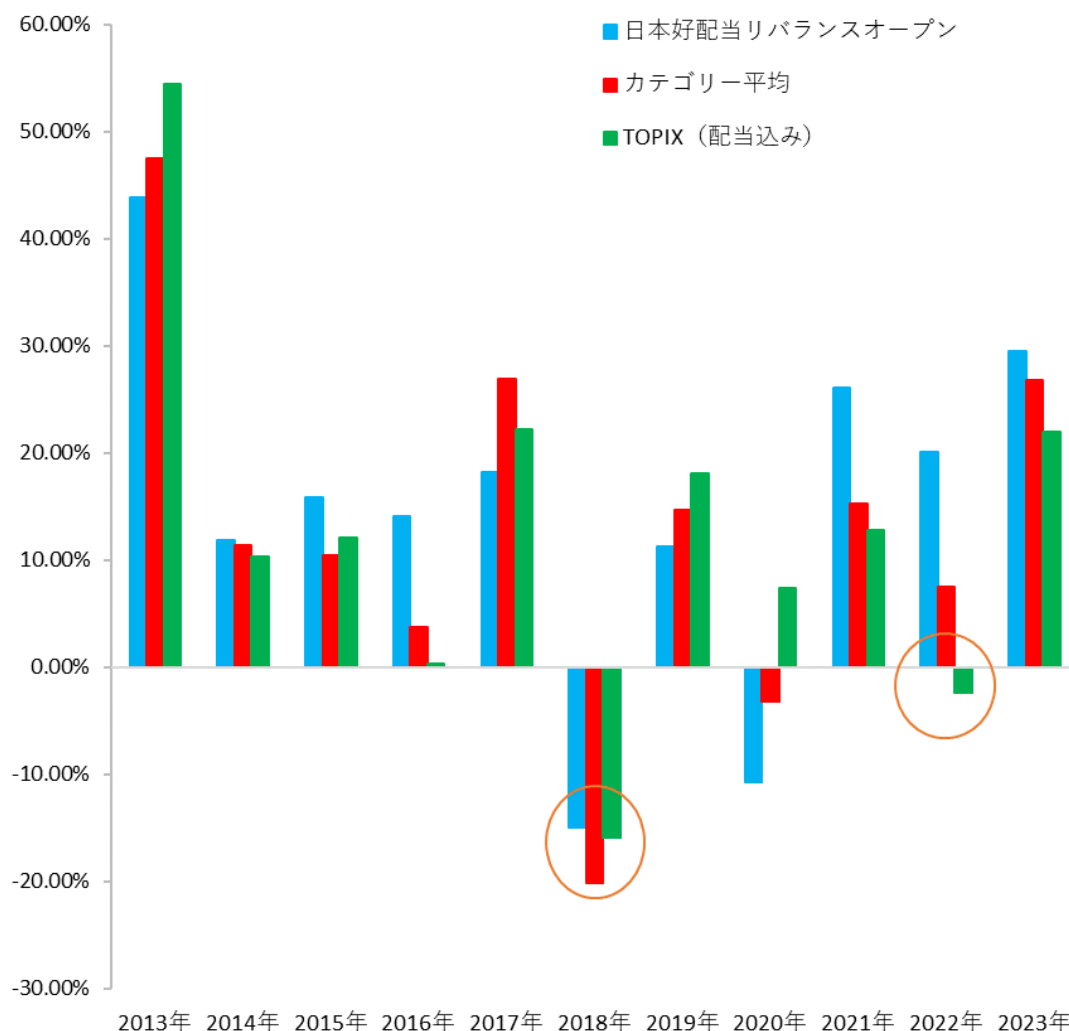
※期間：2015年3月末～2023年10月末（月次）

※2023年10月末時点は、2013年10月末に保有して10年間保有した場合のトータルリターン

出所：ウェルスアドバイザー作成

下落局面に強さ、リバーサル効果も獲得

2013年から2023年（2023年は10月末まで）の暦年のトータルリターンを見ると、当ファンドはTOPIX（配当込み）がマイナスとなった下落局面の2018年、2022年の2年間において、いずれもカテゴリ平均及びTOPIX（配当込み）を上回った。上昇局面の9年間でも5年間でカテゴリ平均及びTOPIX（配当込み）を上回っており、堅調と言える（図表4）。当ファンドの特徴として、組入銘柄の月次リバランスの際に割安感のある銘柄に着目することで、株価の下がった銘柄はその後反発するという「リターン・リバーサル効果」の獲得を狙う点が挙げられる。当ファンドは、配当収入による下値抵抗力の強さを発揮すると同時に、その後のリバーサル効果も概ね獲得できており、長期的に優れたパフォーマンスを実現していると考えられる。

図表4：暦年トータルリターンの推移


※カテゴリ：国内中型バリュー

※期間：2013年～2023年（年次、2023年は10月末時点）

出所：ウエルスアドバイザー作成

当ファンドの2023年10月末時点の信託報酬等（税込）は0.91%とカテゴリ平均を0.20%下回る。カテゴリ内アクティブファンド平均に対しては0.46%下回り、最も低コストとなっている。ウエルスアドバイザーのフィーレベルは、カテゴリ「国内株中型・アクティブ」内でコスト水準が最も低いことを表す「安い」となっている。

当ファンドは2005年3月23日に運用を開始しており、運用実績は国内配当株ファンド47本中3番目に長い。配当収入による下落耐性やリバーサル効果の享受、低コストなどを背景に長期にわたって良好なパフォーマンスを発揮しており、評価できる。